



2025 年 7 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T O R I C O
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 安 藤 拓 郎
(コード番号：7138 東証グロース市場)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 鯉 沼 充
(TEL. 03-6261-4346)

新たな事業（暗号資産投資事業）の開始に関するお知らせ

当社は、2025年7月8日開催の取締役会において、新たな成長機会の創出および資産運用方針の一環として、暗号資産への投資事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本事業の開始に先立ち、当社定款に関連する事業目的の追加が必要となるため、2025年12月末までに開催を予定する臨時株主総会において、定款変更の承認を得ることを予定しております。

記

1. 暗号資産事業開始の背景

近年、暗号資産は国際的な金融市場において存在感を高めており、特にビットコインは、世界的上場企業を中心に保有の動きが加速しています。これらは、インフレ耐性や価値の保存手段としての特性が評価され、財務戦略の一環として中長期的な企業価値の向上を目的とした取組として注目されています。

当社においても、既存事業の枠組みにとどまらず、将来的な収益機会の創出および財務基盤の強化を見据え、暗号資産への投資を新たに開始することといたしました。また、当社が展開するECサービスおよびイベントサービスにおいては、ブロックチェーン技術やデジタルアセットの活用による新たなビジネスモデルの可能性を視野に入れており、これに資する知見の蓄積と、新規事業創出に向けた布石としても位置づけております。

今後は、デジタルアセットを活用した事業ポートフォリオの最適化を通じて、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

2. 事業の概要

(1) 事業内容

当社は、今後の成長戦略の一環として、拡大する暗号資産市場を中長期的な視点で捉え、デジタルアセット領域への取り組みを段階的に強化してまいります。

具体的には、以下の取り組みを中心に展開を予定しております。

- ・暗号資産（ビットコイン/BTC）への投資・保有を通じた資産の多角化および価値保全
- ・暗号資産およびブロックチェーン技術を活用した既存事業の高度化と新規事業の創出

（２）運用体制

本事業の運営は、暗号資産に関する十分な知見を持つ外部専門家の協力のもと、当社が定める下落率（例：購入価格から 50%以上の下落）を超えた場合には、保有資産の一部または全部を売却することを基本方針とするロスカットルールを設定する等のリスク管理を徹底した体制で運用を行います。取引および保管においては、信頼性の高いカストディサービスやセキュリティ体制を導入し、透明性と安全性を確保いたします。なお、本事業運営にあたり外部専門家との契約を想定しており、アドバイザー費用につきましては自己資金からの充当を予定しております。

（３）事業開始の予定時期

臨時株主総会での定款変更承認後、速やかに事業を開始する予定です。

（４）初期投資予定額

本事業に係る初期投資額として、臨時株主総会にて定款変更の承認を得た後、2026 年 1 月～2027 年 12 月を目処に、下記のとおり約 5 億円を見込んでおります。

- ・第 9 回新株予約権行使調達予定資金：3 億円
- ・手許資金：2 億円

なお、第 9 回新株予約権行使による調達予定資金につきましては、2025 年 7 月 8 日開示「資金使途の変更に関するお知らせ」にて記載のとおり、2025 年 4 月 25 日付「業務資本提携に関する契約の締結、並びに第三者割当による第 9 回新株予約権及び第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」にて公表しておりました資金使途からの変更を行っております。

3. 今後の見通し

本事業の開始に伴う今期業績への直接的な影響は軽微であると見込んでおりますが、将来的には財務戦略の柔軟性向上および企業価値の向上に資するものと判断しております。

また、本資産は、会計基準上、無形資産として取り扱われ、期末時点において著しい価値の下落が認められる場合に限り減損処理が行われることとなります。なお、四半期ごとの時価評価および評価損益の計上は行わない方針ですが、重要な変動が生じた場合には、適宜開示を行う予定です。

今後の運用状況や意思決定に重要な変化が生じた場合は、速やかに情報開示を行ってまいります。

以 上